



モーリタニア・イスラム共和国

Islamic Republic of Mauritania

2007年10月現在



一般事情

- 1.面積 103万平方キロメートル(日本の約2.7倍)
- 2.人口 320万人(2007年 UNFPA)
- 3.首都 ノアクショット
- 4.民族 アラブ人、モール人、アフリカ系
- 5.言語 アラビア語(公用語)、フランス語
- 6.宗教 イスラム教(国教)
- 7.国祭日 11月28日(独立記念日)
- 8.通貨 ウギア(UM)
為替レート 1ドル = 268ウギア(2006年平均、EIU)
補助通貨単位 -

9.査証(ビザ)

10.在留邦人数 12名(2007年10月1日現在) コンセント・タイプ

11.在日当該国人数 14名(2006年12月)

12.電源 220 V 50 Hz

13.国際電話 国番号 222 国際通話コード -

14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)

税率 - %

製造数量 - (百万本/年)

シガレットメーカー **No Cigarette Manufacturers in this Country**

15.略史

年月	略史
15世紀-	アラブ系民族による支配
1902年	フランスによる支配の開始
1904年	フランス領
1945年	フランス連合植民地
1958年	自治宣言
1960年	フランスより独立(ダダ初代大統領)
1978年	クーデター、特別軍事政権成立
1984年	クーデター、タヤ参謀総長政権掌握
1992年	タヤ大統領選出
1997年	タヤ大統領再選
2003年6月	クーデター未遂事件
2003年11月	タヤ大統領三選
2005年8月	タヤ大統領不在時に軍事クーデター 軍部暫定政権発足
2007年3月	アブダライ大統領選出

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館

モーリタニア・イスラム共和国大使館
Embassy of the Islamic Republic of Mauritania in Japan
〒141-0001 品川区北品川5丁目17-5
電話:03-3449-3810

政治体制・内政

- 1.政体 共和制
- 2.元首 シディ・モハメド・ウルド・シェイク・アブダライ(Sidi Mohamed Ould Cheikh ABDALLAHI)
- 3.議会 二院制(上院及び国民議会)
- 4.政府 (1)首相 ゼイン・ウルド・ゼイダン(Zein Ould ZEIDANE)
(2)外相 モハメド・サレック・ウルド・モハメド・レミン
(Mohamed Saleck Ould Mohamed LEMINE)

5.内政

1984年にクーデターで政権を掌握したタヤ大統領は、1990年代初頭より民主化の定着に努め、1992年及び1997年及び2003年の大統領選挙で勝利を収めた。

しかしその後、クーデター未遂等が発生し、2005年8月にはタヤ大統領不在時に軍部が政権を掌握した。

その結果「正義と民主主義のための軍事評議会」が設置され、民主化プロセスが進展。

2007年3月の大統領選挙実施により、アブダライ大統領が選出され、19ヶ月に亘る民政移管プロセスが完了した。

現在は新体制下で、民主化の定着及び経済・社会開発に向けた取組が行われている。

外交・国防

1. 外交方針

非同盟を軸として穏健中立を貫くとともに、仏を始めとする先進諸国との関係強化を進めている。
アラブ・マグレブ連盟(AMU)のメンバーとしてイスラム諸国との域内協力を積極姿勢を示す一方で、1999年10月にはイスラエルとの外交関係を樹立した。

2. 軍事力(ミリタリーバランス2007年版)

- (1) 予算 1,770万ドル(2006年)
- (2) 兵役 徴兵制(2年間)
- (3) 兵力 15,870人(陸軍15,000、海軍620、空軍250)

経済

1. 主要産業 農牧業(ソルガム、粟、米、牛、羊)

2. GNI 23億ドル(2006年、世銀)

3. 一人当たりGNI 740ドル(2006年、世銀)

4. 経済成長率 11.7%(2006年、世銀)

5. 物価上昇率 29.8%(2006年、世銀)

6. 失業率 N/A

7. 総貿易額(2006年)

(1) 輸出 13億6,700万ドル

(2) 輸入 11億6,700万ドル

8. 主要貿易品目

(1) 輸出 鉄鉱石、魚介類

(2) 輸入 石油開発機器、石油製品

9. 主要貿易相手国(2005年)

(1) 輸出 イタリア、日、仏、独

(2) 輸入 仏、英、米、中国

10. 通貨 ウギア(UM)

11. 為替レート 1ドル = 268ウギア(2006年平均、EIU)

12. 対外債務残高 22億8,100万ドル(2005年、EIU)

13. 経済状況

経済は、農業、漁業及び牧畜を基盤とし、外貨収入は水産物(タコ及びイカ)及び鉄鉱石の輸出に依存。
ただし、ヌアクショット沖合で相当量の石油と天然ガスの埋蔵が確認され、2006年2月にシンゲッティ油田で石油生産開始。

これにより、2006年の経済成長率が15%近くに達することが見込まれ、今後は石油開発による安定した収入が期待される。

経済協力

1. 我が国の援助実績(単位:億円)

(イ) 有償資金協力 (2005年度まで、E/N(交換公文ベース)) 110.84(債務免除を除く)

(ロ) 無償資金協力 (2005年度まで、E/Nベース) 432.98

(ハ) 技術協力 (2005年度まで、JICAベース) 49.07

2. 主要援助国(2004年、単位:百万ドル)

1. フランス(29.2)、2. スペイン(11.5)、3. ドイツ(11.3)、4. 日本(11.1)、5. 米国(11.0)

二国間関係

1. 政治関係

1960年11月29日、我が国はモーリタニアを承認。

我が国は在セネガル大使館が兼轄。

モーリタニアは1989年7月、在京大使館開設。

2. 経済関係

(1) 貿易額・主要貿易品目(出展:貿易統計2006年)

対日輸出 115億3,626万円(軟体動物、冷凍魚)

対日輸入 18億8,089万円(自動車、タイヤ)

(2) 進出企業 4社(2006年10月現在)

3. 文化関係 ヌアクショット国立博物館に文化遺産保護・展示体制強化のため機材供与(文化無償)

4. 在留邦人数 12名(2007年10月1日現在)

5. 在日当該国人数 14名(2006年12月)

6. 要人往来

(1) 往訪

年月	要人名
2004年8月	(日・AU議連訪問団)
	村田吉隆衆議院議員、北村誠吾衆議院議員
2006年8月	伊藤外務大臣政務官
2007年4月	浜田外務大臣政務官(総理特使)(大統領就任式)

(2) 来訪

年月	要人名
1989年2月	シディヤ外務・協力相(大喪の礼)
1990年11月	ディディ外務・協力相(即位の礼)
1993年10月	シディ計画相(第1回アフリカ開発会議(TICAD))
1993年11月	ダー漁業海洋経済相
1995年9月	ヴァル労働青年スポーツ相(福田元総理葬儀参列)
1997年1月	シディア計画相、ネム漁業海洋経済相(水産調査船引渡式)
1998年10月	ナジ経済開発相(TICAD II)
2001年2月	ザメル漁業相
2001年12月	フメイド経済財政相(TICAD閣僚レベル会合)
2003年3月	メルズグ・セネガル川開発機構(OMVS)事務局長 (元モーリタニア水利大臣)(世界水フォーラム)
2003年9月	モハメッド・ウルド・マーウヤ経済・開発省次官(TICAD III)
2004年6月	ムンバレ漁業・海洋経済相
2005年7月	ベラル外務・協力相
2006年7月	モハメド・アリ・エネルギー・石油相
2007年8月	レミン外務・協力相
2007年9月	スマレ漁業大臣

7. 二国間条約・取極
なし